

## <報道発表資料>

令和4年 1月13日

### 埼玉ピースミュージアム 令和3年度テーマ展Ⅱ 「埼玉再建！ー『埼玉メガホン』と復興の時代ー」の開催

(同時発表：川越新聞記者会、東松山市記者クラブ)

『埼玉メガホン』は、戦後間もない昭和23(1948)年に埼玉県が創刊した壁新聞(広報紙)で、現在も刊行されている『彩の国だより』の前身にあたります。

占領下の日本では、GHQが主導した民主化政策の一環として、官公庁による広報が重視されており、紙媒体のほか、ラジオや映画、広報車など、当時のあらゆるメディアを駆使した広報活動が展開されました。敗戦により、日本は政治や社会の仕組み、秩序などを大きく転換させることを余儀なくされますが、広報は新しい時代の牽引役となっていきます。

今回の展示では、『埼玉メガホン』を中心に、埼玉県をはじめ戦後の日本が直面していた様々な困難と課題、そして焦土からの「埼玉再建」に挑んだ人々の軌跡を、当時の時代背景とともに紹介しようとするものです。

入館は無料です。ぜひ、お出かけください。

#### ●テーマ展の概要

##### 1 会期

令和4年1月15日(土曜日)～令和4年3月6日(日曜日)

##### 2 会場

埼玉ピースミュージアム(埼玉県平和資料館)企画展示室

##### 3 出品点数

約110点

##### 4 主な展示資料

- ・埼玉メガホン、埼玉メガホン画報(当館蔵、埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵、埼玉県立川の博物館蔵)
- ・DDT散布機(八王子市郷土資料館蔵)
- ・ジュラルミン製三輪車(昭和館蔵)
- ・埼玉新聞社戦後報道写真(埼玉県立文書館蔵)
- ・冊子『広報埼玉』(個人蔵)

## ●期間中の主なイベント（参加無料）

○映画会（13時開場・13時30分上映開始、定員80名：先着順）

- ・1月15日(土)「シェーン」
- ・1月22日(土)「終わりよければすべてよし」
- ・1月27日(木)「ボクちゃんの戦場」
- ・1月29日(土)「おじいちゃんの里帰り」
- ・2月 5日(土)「風と共に去りぬ(前編)」
- ・2月12日(土)「風と共に去りぬ(後編)」
- ・2月19日(土)「異国の丘」
- ・2月24日(木)「戸田家の兄妹」
- ・2月26日(土)「わが谷は緑なりき」
- ・3月 5日(土)「爆心長崎の空」
- ・3月12日(土)「さくら隊散る」

○ギャラリー展「写真展 比企丘陵の四季」

期間 2月22日(火)～4月10日(日)

## ■埼玉ピースミュージアム（埼玉県平和資料館）の御案内

[開館時間] 9時～16時30分(入館は16時まで)

[休館日] 毎週月曜日(休日の場合は開館し、直後の平日を休館)

[入館料] 無料

[アクセス] [電車]

東武東上線高坂駅西口から「鳩山ニュータウン行き」バス8分

「大東文化大学」下車徒歩5分

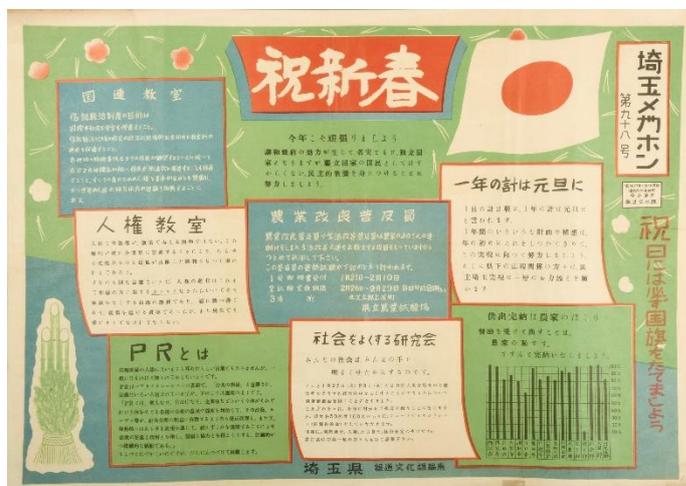
[自動車]

関越自動車道東松山ICから約15分、鶴ヶ島ICから約25分、

坂戸西ICから約15分(ETC装着車のみ)

※新型コロナウイルス感染症流行の状況により、開催日やイベントの定員を調整する可能性があります。ホームページなどに掲載しますのでご確認ください。

【別添】 主な展示資料(画像)



埼玉メガホン第 98 号(埼玉県立歴史と民俗の博物館蔵)



埼玉メガホン画報No.4(当館蔵)



DDT散布機(八王子市郷土資料館蔵)



県庁舎の焼失(埼玉県立文書館蔵)



ジュラルミン製三輪車(昭和館蔵)



『広報埼玉』(個人蔵)